今日の給食　　1月29日(月)

学校給食週間④　果報団子

　果報団子は岩手県南地方に伝わる風習ですが、団子の中に萩の小枝が入っているかもしれません。団子は、そっとよくかんで食べましょう。果報団子にまつわるお話を紹介します。

　ある日旅のお坊さんが「一晩泊めてほしい」とやってきました。貧しい家で食べさせるものがなかったのですが、家族で食べようととっていた小豆を煮たものに、くず米を集めて粉を引いてつくった団子を入れてごちそうしました。ところが、その団子汁の団子の中にわらの切れ端が入っていたのだそうです。「申し訳ありません」と謝る村人に、お坊さんは「いえいえ、これは宝物です。宝物が授かった」といったのだそうです。実はこのお坊さん、全国を旅していた弘法大師という偉いお坊さんで、弘法大師が泊まった貧しい農家は、その後毎年お米がたくさんとれるようになったのだそうです。そして、そのあたりでは弘法大師の誕生日、旧暦の 11 月 24 日に団子の中にわらの代わりに萩の小枝を入れた団子汁を食べるようになったのだそうです。萩の小枝が入った団子を食べ当てると「果報者」で、幸せが訪れると言われています。